

議会だより

しらたか

2016年10月24日発行
(平成28年)

Vol.132

山形県白鷹町議会

9月定例会

「りんご あゆっ子 元気っ子」

鮎貝小学校 りんご栽培体験学習

16頁に関連記事

・**どうだった?** 27年度決算状況… ②p

未来へ生かす ―決算審査― …… ⑤p

ここが聞きたい (3議員が熱弁) …… ⑪p

シリーズ企画 議会の疑問に答える
「議会になぜ?」 …… ⑱p

高 過去最高額

高額となる

9月 定例会

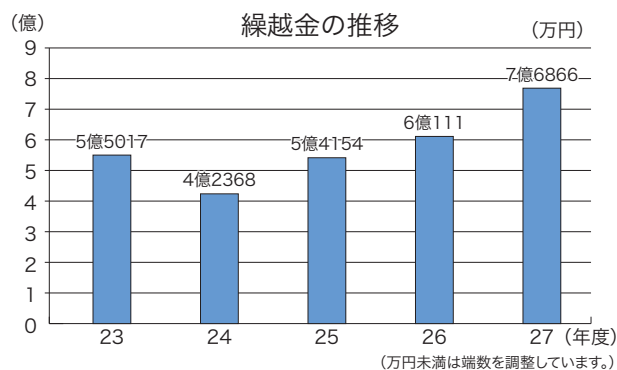
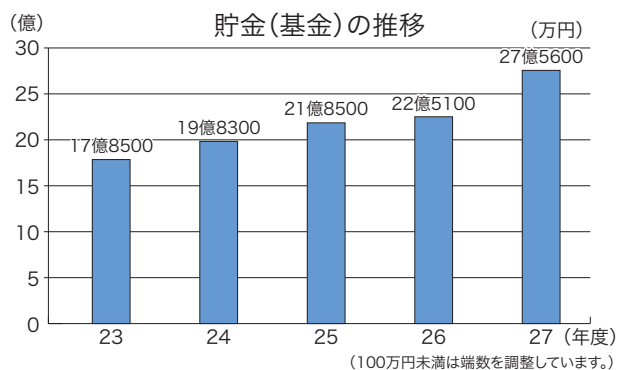
各会計決算の議決状況

会 計 項 目			歳入（収入）	歳出（支出）	全員賛成により認定
一 般 会 計			89億270万円	81億944万円	
特 別 会 計	十 王 財 産 区		118万円	20万円	
	下 水 道		5億9663万円	5億8126万円	
	国民健康保険		19億3578万円	18億6100万円	
	農 業 集 落 排 水		1億4603万円	1億4156万円	
	介 護 保 険		16億1930万円	15億8383万円	
	後期高齢者医療		1億3263万円	1億3164万円	
企 業 会 計	水 道	収益的	3億628万円	2億6112万円	
		資本的	1286万円	1億1933万円	
	病 院	収益的	11億2481万円	11億5310万円	
		資本的	0円	1億1824万円	
	訪 問 看 護 ステーション	収益的	3560万円	3713万円	
		資本的	0円	132万円	
合 計			148億1380万円	140億9917万円	

（万円未満は端数を調整しています。）

※「収益的」は事業に係る収入と支出。「資本的」は施設・設備に係る収入と支出。

定例会は9月6日から15日までの10日間で開催され、27年度各会計決算、28年度補正予算、人事などについて審議し、原案のとおり可決しました。



紅（あか）をそだてる誇りと喜び

平成27年度
決算認定

貯金(基金)残

繰越額も最



27年度に行った主な事業(投資的建設事業)

町民武道館整備	4億800万円
障害者福祉施設整備	1300万円
斎場改修	1億1490万円
戦略的園芸拡大支援	842万円
萩野地区耕作放棄地盤整備	2440万円
谷町八ヶ森線道路改良	4417万円
Jアラートシステム整備	3560万円

(万円未満は端数を調整しています。)

新しい町民武道館

わが町の財政力

区分・年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	説明
財政力指数	0.269%	0.261%	0.251%	高いほど自主財源の割合が高く、財政力が強い。
経常収支比率	84.4%	89.0%	88.8%	低いほど独自の政策のために使えるお金が多い。
実質公債費比率	8.6%	10.3%	12.0%	収入に対する負債返済の割合。

討論

財源の有効活用で未来を創造

賛成討論

奥山勝吉議員

地方創生交付金等の国の施策事業への取り組みは大事であります。財源を有効に活用し、人口減少社会の中で、本町の未来へ向けた創造と、町民の安心安全のための執行努力は評価します。さらに充実策を求めます。

円の残高であり、基金の取り崩し額がゼロという対応への努力を高く評価します。これからも積み増しをするべきであり新しい基金の設置も検討すべきであります。

財政全般については、努力と改善がみられる所は高く評価します。財政の運営においては積立金、基金は行政運営上、大事なものであり特に財政調整基金においては災害復旧などの緊急対応に欠かせないものであります。27年度末現在約9億9千200万

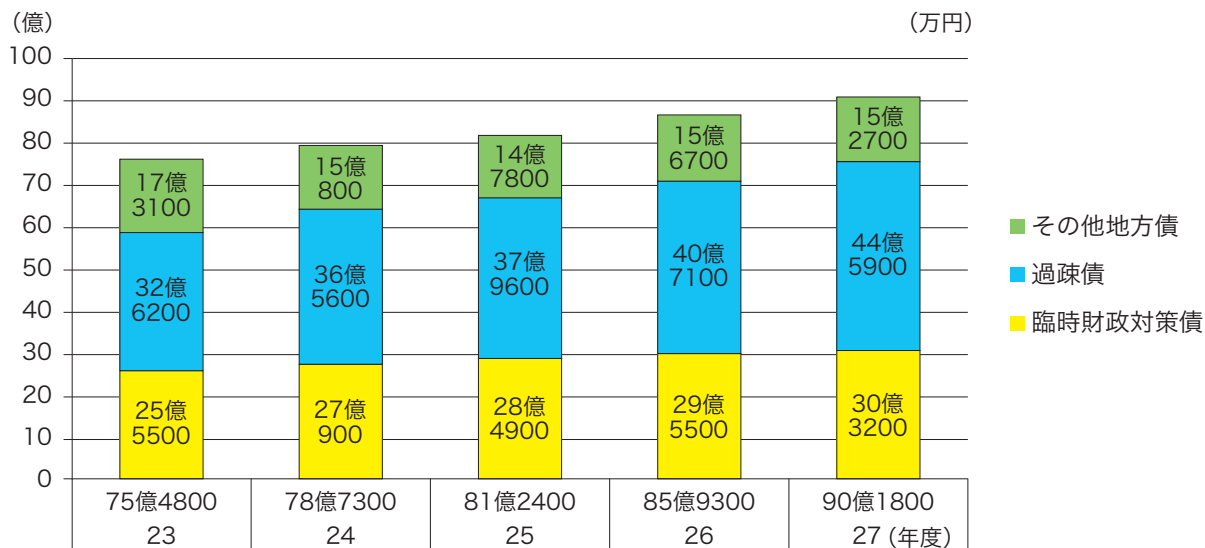
自主財源比率が低い本町では地方交付税に依存している中、税財政制度の動向を注視しながらの財政運営の努力を評価し賛成討論といたします。

※一般会計に対する反対討論はありませんでした。

借金(地方債)の状況は

◆地方債とは

地方債とは、町が財政上必要とする資金を外部から調達することによって負担する借金で、その返済が会計年度を超えて行われるものをいいます。



(100万円未満は端数を調整しています。)

◆その他地方債

災害復旧事業債や教育福祉施設整備事業債など。

◆過疎債とは

法律で定められた過疎地域に該当する市町村に限り、発行が認められている地方債。対象事業に100%充当することができ、返済額の70%が普通交付税として措置される。(実質負担30%)

◆臨時財政対策債とは

普通交付税に対する国の財源不足を補うため、地方が発行する地方債。普通交付税の代わりとなる財源のため、使い道は限定されない。また、返済額の100%が普通交付税として措置される。(実質負担0%)



次年度ヘダッシュ！

監査意見書

財源の有効活用と効率的な財政運営

平成27年度の財政状況においては、経常収支比率は昨年度から改善し、84・4%となつています。財政力指数(3年平均)は0・269となり、わずかながら改善しています。また、実質収支比率は、16・0%となつています。これは、豪雨災害関連経費や除雪経費など先の需要が予測困難な経費の執行残があつたこともある指が、望ましいとされる指数を上回っている。財源の有効活用という観点か

らも、効率的な財政運営に努められたい。郵便局やコンビニ収納を実施し納税者の利便性がはかられた。町税は自主財源の根幹をなすものであり滞納分も含め、引き続き徴収率の向上に努めていただきたい。事業の進捗状況やその効果を定期的に点検しながら事業を進めていただきたい。今後とも、法令等を順守し厳正かつ適正な事務事業の執行に努められるよう望む。

代表監査委員

監査委員

山田 仁

竹田 謙一

決算特別委員会

PDCAサイクルで未来へ生かす

予算（Plan）・執行（Do）・検証（Check）・編成（Action）

委員長 小形 輝雄
副委員長 菅原 隆男

決算特別委員会とは

議会が決定した予算が適正に執行されたかを審査するとともに、その行政効果や経済効果を精査し、住民に代わって評価します。審査の結果は、後年度の予算編成や行政執行に生かされます。

構成委員は、遠藤議長と山田監査委員を除く全議員です。

実質収支（繰越金）が多い原因は
関委員 実質収支比率16%だが、望ましい割合は。繰越金が多く適切な予算管理ができていないのでは。

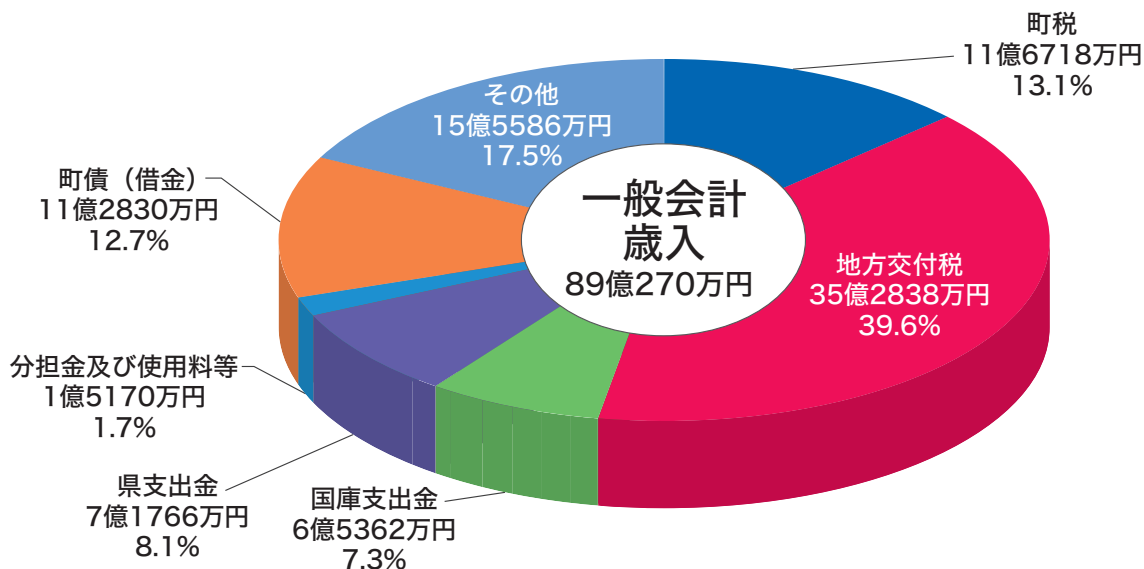
質 疑

歳 入 (町の収入)

税務出納課長 滞納繰越額の予算計上については、滞納全体の金額に対して例年ベースの収納率を見込み計上している。
相続人がわからないとか、会社が倒産して納付書を送れないといった数があるが、27年度は13件であった。

固定資産税の滞納繰越状況は
佐藤委員 滞納繰越額から収入予算額を計上した根拠と、納税義務者が居ない又は不明の件数は。

総務課長 3〜5%が望ましいと認識している。当初予算の歳入では、厳しい見方をせざるを得ない状況であり、補正財源で住民の行政需要にこたえていきたい。



（万円未満は端数を調整しています。）

(町の収入)

質疑



ともだちいっぱいほしいなあ（愛真こども園）

地方交付税の状況は

菅原委員
前年比で

1・8%の減となっているが、普通交付税及び特別交付税の状況は。

総務課長
普通交付税

は新たに人口減少等特別対策事業費の項目が新設されたため増額。特別交付税は災害関連や除排雪経費の額が前年を大きく下回ったため減額となっている。

第三子の保育料無償化を拡充できないか

佐々木委員
保育料無

償化により町の収入額は減るが、兄弟の年齢要件見直しも、少子化対策の一つとして必要ではないか。

健康福祉課長 置賜で

は高畠町と飯豊町が高
校生相当で実施。さら
なる子育て支援の充実
のために、どのような
施策が良いか検討して
いきたい。

ソフト小村の使用状況は

菅原委員
ソフト小村

の使用料は、当初予算に対して決算額が約200万円の減額になっているが状況は。

産業振興課長
27年度

は2棟が空いている状況のため、減額となった。

公共交通の利用状況は

小口委員
スクールバ

マンドタクシーの利用料が2年連続で減少している要因は。

企画政策課長 利用に

向けたPR等については町報等でも行っているが、なかなか理解をいただけない部分もある。高齢者のサロン等に出向いて、制度の周知と利用に向けたPRをしていく。

(町の支出)

質疑



人生、山折り 谷折り (蚕桑コミセン)

総務費

コミュニティは個性ある
地域ポイントに

今野委員
地域コミュ

ニティ化は、27年度の柱とも言える新規事業であった。どのような事業が展開されたのか。

企画政策課長
コミセ

ンによつては特徴的な事例もあつたが、移



しらたかってどんなところ？（東京移住相談会）

行初年度ということもあつて、運営体制の確立を優先したことから、地域の特徴を生かした活動の展開ということでの取り組みは少なかった。

同窓会助成の効果は

【笹原委員】 同窓会への助成があるが、実績と効果は。

【企画政策課長】 昨年度は3団体で103人が助成を受けた。要件には出席者の3割以上が町外居住という規定もあり、将来Uターンしてももらいたいとの思いもあつて制度化した。具体的な事例は聞いているが、今後も周知をしていきたい。

UJイーナーの呼び込みは

【今野委員】 若者移住施策等は、新規就農者、地域おこし協力隊、空き家利用など連携した中で進めるべきと思うが。

【町長】 各自治体が同じような取り組みをしている中で、白鷹町にだけというのはなかなか難しい。現在移住されている方は、新規就農や、はた織りなどの目的をもっている。これらを参考にしながら今後とも機会をとらえて様々な情報提供をしていく。

【複合施設整備のための基金、町民への説明は】
【佐々木委員】 公共施設整備基金を3.5億円積み増したが、町にいくら借金があるのかもあわせて、丁寧な説明をするべきでは。

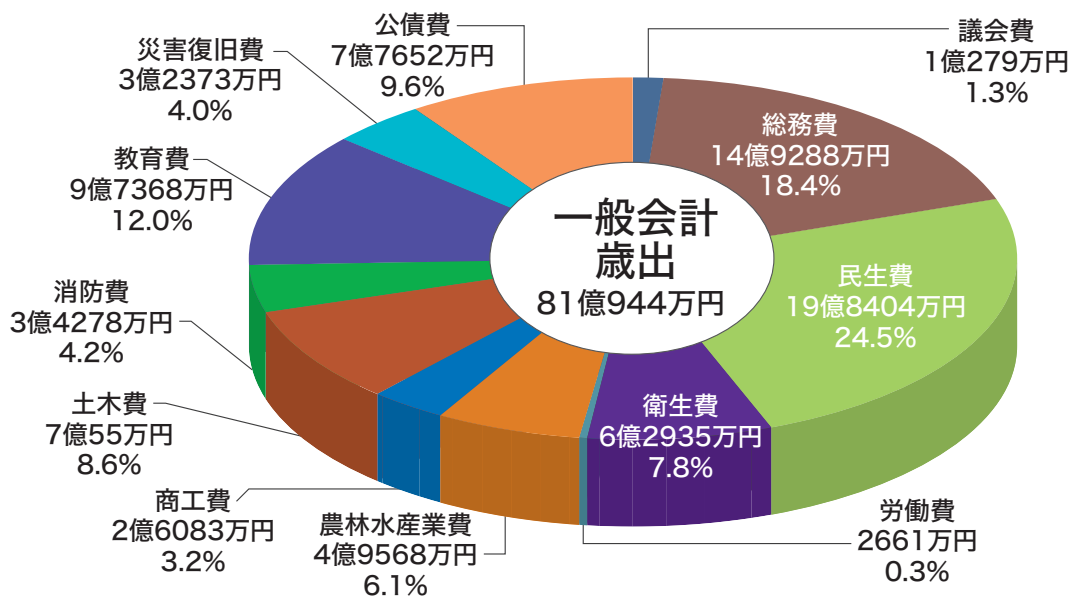
民生費

婚活サポート事業の実績は

【笹原委員】 婚活サポート事業の現在の活動と実績は。

【健康福祉課長】 昨年度新たに婚活サポート専門員を設置した。月1回の婚活応援室の開催。町単独と長井・南陽合同イベントをそれぞれ年2回開催した。また、12件のお見合いを行い、結婚成立が1件という状況。

【町長】 町債残高は約90億円だが、交付税措置により実質18億円の借入金ととらえている。健全な財政運営のために、少しでも有利な交付金や起債を活用し、意をもって対応していきたい。



（万円未満は端数を調整しています。）



農業は人手がいるんです

質 疑

歳 出

（町の支出）

農林水産業費

農と食による地域の魅力創造事業の成果は

田中委員 事業の成果はどうだったのか。6次産業化はできるのか。

農林主幹 枝豆を中心とした豆のブランド化や、産地づくりを推進してきた。成果として

は、若い生産者の増加と作付面積の拡大、さらには生産額も大きく伸びている。6次産業化も今後の課題はあるものの、「プレミアム豆腐」「ジェラート」「枝豆キムチ」などを開発し産業フェアでも試作品を提供した。

有害鳥獣の被害状況は

有害鳥獣駆除事業補助金が出ているが27年度の被害状況は。

農林主幹 ツキノワグマ、カラス、ヒヨドリ、ハクビシンなどによる被害があった。被害額は、りんご、桃、ぶどうなどを中心に約513万円。カワウによる想定被害額約700万円である。今後とも注意を呼びかけるとともに、電気柵等の補助金の周知を行う。

農業活性化センター推進事業状況は

田中委員 事業の取り組み状況を問う。

農林主幹 東京で開催の「新農業人フェア」への参加や若手農業者同士の情報交換会を行った。また、新規就農者に限らず、担い手の方々の大型特殊や牽引免許の取得助成も行っている。

商工費

観光協会の現状と今後の対応は

関委員 観光協会の事務局体制が弱体化しているように思われるが、現状と今後の対応を問う。

町長 常勤ではないため、職員の雇用が不安定である。職員が働きやすい環境を念頭に対応したい。



ガッチリ組み立てるぞ（産業フェア）

産業フェアはなぜ夏に

笹原委員 産業フェアを夏に開催する意味は。秋の開催でもいいのではないのか。

産業振興課長 夏の開催は実行委員会でのさまざまな検討の結果決定された。ただ、年ごとに集客数が減少傾向にあることも踏まえて今後検討していく。

企業立地促進事業は雇用の促進に結び付いたか

佐々木委員 工場増設等の事業費を補助する条件に「雇用者数の増加」があるが、結果は。

産業振興課長 3社に対して事業費等の補助をおこない、それぞれ、4人、10人、12人の新たな雇用があった。

土木費

『おしん橋』の今後は

佐々木委員 太平橋調査業務の結果と、今後の取り組みは。

建設水道課長 解体の

場合約4000万円、修繕の場合約1億6000万円かかるとの調査結果。朝日町と半分の負担となるため、今後の方向性は、両町で協議している。

消防費

自主防災組織の強化は

小口委員 自主防災会を対象として取り組んだ地域防災活動強化支援事業の実績と効果は。

総務課長 26区のうち、

11組織で利用いただいた。内容は防災研修会、講習会、避難訓練等を行い地域の方々が災害に備える、あるいは心構えを持つという効果



自主防災訓練（東高玉）

があつたものにとらえている。

全国瞬時警報システムの今後は

佐藤委員 屋外拡声器を12ヶ所増設して音声での情報伝達を拡充したが、町民の反応は。また、今後の方向性は。

総務課長 聞き取りに

くいなどの意見については、現在ボリウム調整を行っている。特に情報が伝わりにくいお年寄りの方々への対応等については、高齢者福祉の観点からも検討を進めていく。

軽積載車の更新計画は

小口委員 現在、各部に1台配備している軽積載車型消防ポンプの更新計画は。

総務課長 基本的には現在の各部1台の15台をベースに更新を考えているが、団員の確保に苦慮している地域もあるように聞いているので、消防団とも協議しながら、地域の実情を踏まえ組織体制を含め検討していく。

介護保険 特別会計

ふれあいいきいきサロン事業を拡充すべき

奥山委員 高齢社会には重要な事業。実績を見ると、有効に実施するための予算としては少ないようだが、所見は。

町長 生涯にわたり元

気で過ごす環境を整えることは一番大切なこと。決して多い予算とは思わないが、新年度の対応に当たっては、十分に内容を聞きながら、検討していきたい。

病院事業会計

人口減少の中での、今後の健診事業は

奥山委員 人口減少において、来院者の増は見込めない場合に、人間ドックなどの健診事業への対応は。

病院事務局長 町からの補助金により、自己負担が少なく受けられることに加え、気軽に町の病院で健診を受けられる利便性も考えながら、継続していくよう努力していく。



健診事業の増加が期待される

補正
予算

このように決めました

貯金（基金）増し 両基金とも10億円超え

質 疑

【当局】 投資的事業は単年度のみでは対応できないことを想定し、整備基金を積み立てていくもの。

【当局】 まず、どれくらいの土砂がたまっているか測量を行う。それを受けて、池周辺も含

【委員】 2億円を積み立てる理由と、使い道、目的について改めて問う。

【委員】 調査は具体的にどの程度までのものか。

【委員】 調査は具体的にどの程度までのものか。

公共施設整備基金積立の目的は

中丸池基礎調査の内容は

をされているまちづくり複合施設整備等を考えている。

めて、若い人から高齢者の方々まで生涯スポーツ等ができるように復旧整備することを想定している。

整備を検討する際の基礎調査である。



去年まで行われていた灯ろう流し（中丸公園）

一般会計補正の主なもの

公共施設整備基金積立（元金） 2億円
【補正後残高 10億4937万円】

財政調整基金積立（元金） 5000万円
【補正後残高 10億4268万円】
今後見込まれる財政需要等に備えるもの

いきいき深山郷交流広場整備事業 2124万円
深山地区の観音寺観音堂を訪れる観光客等の利便性の向上や誘客拡大に向けて、公衆トイレを含む交流広場を新たに整備するもの

中丸公園中丸池基礎調査委託料 550万円
中丸公園内の中丸池について、現状把握等の基礎調査を実施するもの

町道維持補修費 2520万円
路面補修等の安全対策をはじめとした維持補修工事等の追加計上

防火水槽新設事業費 1276万円
西横田尻地区内の防火水槽について、老朽化が著しいことから、新設整備をはかるもの

小四王原遺跡竪穴式住居修繕事業 288万円
強風等により破損が生じたことから、降雪前に修繕するもの

など

◎財源は国・県支出金、繰越金などで対応します。

平成28年度補正予算総括表

会計項目		補正額	補正後の額
一般会計		3億6012万円	81億2397万円
特別会計	下水道	500万円	7億5382万円
	国民健康保険	1227万円	18億6299万円
	農業集落排水	10万円	1億6530万円
	介護保険	3199万円	16億6997万円
事業会計	水道（収益的支出）	277万円	3億551万円

（万円未満は端数を調整しています。）

町民保養センターの利用拡大に向けた対応は

町長 町全体の施設と連携し利用者を増やす



奥山勝吉 議員

アクセス不便の解消は

問

高齢化の中で
の交通アクセス
はどのようにするの
か。

産業振興課長

団体客に
はバスなど
での送迎を行っている。
また、冬期間はきめ細
かな対応ができないか
検討していく。

**経営的な数字の把握
と借入金への対応は**

問

欠損金が約
6000万円、
短期借入金7700万
円の返済計画は。

産業振興課長

新規事業
に取り組む
必要があるという事で
検討していく。地道に
一つ一つの課題を整理
し、黒字化を目指して
進めたい。

**理事長や理事に何を
期待する**

問

新しくなられ
た理事の責任と、
パレスの将来像と期待
は。

町長

理事長には副
町長にお願いし
大いに期待している。
オール白鷹で観光施設
と連携し、相乗効果を
高めていく。

**経営と計数管理の考
えかたは**

問

委託料と収益
事業、それぞれ
の収入と経費の数字管
理が必要だが。

副町長

数値化に
ついては明
確にしていく必要がある
し、公的な資金の委
託費としては、当然、
監査を受けてきちんと
やっていく。

**職員教育はどのよう
にするのか**

問

職員からのア
ンケートによる
とさまざまな問題提起
があり、この施設が旅
館なのかホテルなのか
がわからない中で、職
員のお客様への対応
は。

産業振興課長

町民の皆
様にとつて
は、いつでも行ける保
養所的な施設であり、
また、宴会のできる旅

館であり、一人で過ご
すホテルでもある。こ
れらを踏まえ、お客様
にアクションを起こし
ていく必要があると考
えている。

健康福祉課長

運動・食
育・交流の
場を一体とした、魅力
ある事業を展開してい
かなければならないと
考えている。

**健康増進施設として
の利用は**

問

パレスの施設
は健康増進にと
ても良い施設だが、総
合的な健康管理の面で



パークゴルフで健康増進 (パレス松風)

ALT (外国語指導助手) の増員をはかれ

町長 できるだけ早い段階で実現していきたい



菅原俊一議員

ALTの増員を

問

英語教育の必修化や教科化に備え、ALTの増員をはかってもらいたい。

町長

児童生徒に対してALTの果たす役割は大きい。増員は他市町の動向を踏まえ、できるだけ早い段階で実現していきたい。

問

英語の教科化にともなう取り組みは。

教育長

文科省案には専門性を高める研修やALTの積極的活用の方針が示されるようだ。次期

青少年国際交流事業の拡充を

問

今年度の応募人数は。

町長

定員4人増の12人で募集したところ、中学生17人、高校生5人の応募があった。

問

子どもたちには生涯の宝となるような得難い経験。成果を精査したうえ継続と拡充を願う。

町長

生徒の関心も高く効果が大変大きい。派遣先や人数、時期や内容等も含め、

いじめの実態はあるか

問

全国的にいじめ問題が後を絶たない。白鷹町の子どもたちにいじめの実態はあるか。

教育長

昨年度の調査によると、小中学校で合計7件のいじめが認知されているが、いずれも解消している。今年度は1件あつたが解消している。

問

いじめの相談窓口は設置されているか。また、生徒への周知は。

教育長

各学校で教職員全員が相談を受ける体制をとっている。町教育委員会にも窓口がある。長井警察署、県教育センターなどに電話相談

熱中症対策の現状は

問

スポ少や部活動での熱中症対策は。感覚だけの判断ではなく「暑さ指数計」の活用を。

教育長

学校は水分補給、屋外での帽子着用など事故防止に努めている。スポ少指導者には熱中症対策についての研修を行っている。指数計は各学校で活用している。



生きた英語を学びたい

参院選から見た世論 TPPへの対応は

町長 希望をもって農業経営に取り組めるよう要請していく

世論を踏まえTPPへの対応は

問

参院選では、秋田を除く東北の5県で、TPPを推進しない候補者が勝利した。この世論をどう考えるか。

町長

TPPについては、全国町村会の決定に協調した対応をすべきと考える。

昨年の全国町村大会の特別決議は、政府に対し、農林漁業者が希望をもって経営に取り組めるよう求めている。この特別決議内容の実現に向け、県選出国會議員への要請行動を



石川重二議員

行ってきた。

今後とも国内外の動向を注視しながら対応していく。

旧西中学校舎を残せないか

問

福祉施設が完成するまでの間の地震を想定し、避難所として旧西中学校舎を残せないか。

町長

耐震基準の問題や、建物があるというところと工事が進められないというところがあり、校舎等は解体撤去する方針である。耐震の耐力指数がない校舎を避難所にすることはできない。

川西地区でもバスの運行を

問

川東地区では、住民混乗のスクールバスを運行している。川西地区でも運行できないか。

町長

以前川西地区でも町営バスを運行していたが、バス停が遠い等の課題があり利用者が少なく、デマンドタクシーに移行した。

教育次長

スクールバス等の巡回運行についても同じ結果が予想される。利便性向上をはかりながら、デマンドタクシーを継続していく。

デマンドタクシーの開始時間を早く

問

朝8時台のフラワー長井線で公立置賜総合病院に行くよう、デマンドタ

クシーの開始時間を早くできないか。

企画政策課長

高齢者の確保は、大切なことである。委託業者と話し、検討していく。



安全運転で送迎します

総務厚生常任委員会

3年間で3万5000人超の利用者

9月8日に委員会が開催され、4年目を迎えた白鷹町子育て支援センター「にこぽーと」を視察し説明を受けた。

子どもの健やかな成長を願い、利用しやすい環境づくり

年間1万人超の利用者

◇25年度から社会福祉協議会に運営を委託。利用者は主に未就学児とその保護者。床暖房完備や日曜日の利用が可能なことなどから年間1万人を超える利用がある。長井、飯豊、朝日など近隣市町村からの利用者もある。

施設長 保育士で随時対応している。町の保健師も入っている。にこぽーとの職員だけの感覚にならないように連携している。

委員 日曜日の利用状況と今後の課題は。

施設長 土曜日は閉館で日曜日はファミリーサポート会員の協力で実施している。普段より利用者は少ない。今のところ問題はないが、いざという時の責任の所在が今後の課題である。

質疑
子育て相談は
委員 子育ての悩み相談やアドバイスは行っているのか。



にこぽーとで楽しく子育て

介護予防教室が来年からコミセンで

介護予防・日常生活支援総合事業について説明を受け、「八乙女げんき塾」を視察した。

いつまでも元気に暮らすために

◇介護予防・日常生活支援総合事業は町の介護保険条例で平成29年4月1日から始まることと決定している。コミセン単位で介護予防教室を実施する。

質疑

何が変わるのか

委員 事業の移行でげんき塾の利用者にとって何が変わるのか。

当局 現在の利用者には変更はない。新事業では65歳以上が介護予防教室に通う。身近なコミセン単位で運動機能強化などを行う。



笑いは健康のもと（八乙女げんき塾）

コミセンの活動に任せるのか

委員 事業はコミセンの活動に任せるという形になるのか。

当局 介護予防教室は町主催でコミセンの会場を借りる形が1年目。2年目からは自主的にコミセンの活動にしていく。蚕桑地区ですすでにモデル事業を行い、10月からコミセンの活動として行う。

指導者は

委員 モデル事業の指導者は町からか。

当局 モデル事業では天童のスポーツクラブに委託したが、来年度以降はRO＊KUにお願いする。

その他

○まちづくり座談会の実施状況

○地方創生先行型交付金事業の実施状況

などについて説明があった。

耕作放棄地の解消と農業者育成

9月9日に委員会が開催され、「萩野地区は場整備、耕作放棄地解消・発生防止基盤整備事業」について現地を視察し、状況の説明を受けた。

担い手育成と質の高い農地利用

事業の目的

耕作放棄地の解消を契機とした農業担い手への農地集積と、生産性の高い作物の導入により、安定した経営体の育成と、質の高い農地利用をめざす。

平成28年度工事

◇第7工区（萩野地区の北東部）7.5ヘクタール

質疑

担い手確保、課題は

委員 整備された箇所を管理する、担い手の確保に向けた今後の課題は。



生まれ変わる荒廃地

町外からの移住は

委員 広域的にという

当局 地区ごとではなく、町内全域の中で、どの土地をどのように活用していくかを考え、広域的に担い手を確保していくことも必要になってくると考える。

当局 地区ごとではなく、町内全域の中で、どの土地をどのように活用していくかを考え、広域的に担い手を確保していくことも必要になってくると考える。

点で、町外からの移住も含めた考え方は。

当局 すでに移住された方にも協力をいただき、町のPRに努めてきた。移住者により条件が違いため、農園の関係者とも連携しながら、課題等の情報提供をいただき対応していきたい。

「買い物に不便」どう支援する

「買い物環境調査事業」の状況について説明を受けた。

買い物環境に関するアンケート調査を行った

調査結果を踏まえた今後の支援方針

◇今ある資源を最大限に活用し、民業を圧迫せず、長期的に継続できる方法で検討。

◇個人商店の活性化につながる、移動販売や宅配などに対する支援。
◇病院から商店へ、デマンドタクシーの運行についての検討。

質疑

近隣の支援状況は

委員 買い物困難者への支援、全国または近隣の状況は。



来てけっちえ、助かるう（移動スーパー）

当局 高齢者を店まで送迎、移動販売、タブレットやファックスで注文する宅配サービス、生協のようなサービス、コンビニでのサービスなど様々ある。

消費者のニーズと、店舗で何ができるかを組み合わせた中で協議し、今後の方向性を探っていく。

その他
○公共下水道事業鮎貝中継ポンプ場の今後のスケジュール
○「原のシダレザクラ」の白鷹町指定文化財の解除
○中央公民館ベランダ等の一部利用規制
について説明があった。

請 願

採択2件・継続審査1件

- 次期介護保険制度改正における福祉用具、住宅改修の見直しに関する意見書提出についての請願

請願者 日本福祉用具国民会議
長澤 康浩

全員賛成 **採択**

【提出先】内閣総理大臣・厚生労働大臣

意見書（要旨）

福祉用具貸与等の給付見直し（原則全額自己負担へ）は、高齢者の自立的生活を阻害し、給付費が増大するおそれがある。見直しについて、検討を強く求める。

- 「福島原発事故避難者への住宅無償提供の継続」について

請願者 福島原発被災者フォーラム山形・福島
代表 武田 徹

全員賛成 **採択**

【提出先】内閣総理大臣・衆議院議長
参議院議長・福島県知事

意見書（要旨）

- 1 平成29年4月以降も、福島原発事故避難者への住宅支援を継続すること。
- 2 住宅支援は、自主避難者を含め避難当事者の意見を十分に聴取する機会を設けること。

- TPP協定を国会で批准しないことを求める請願

請願者 山形県食健連会長 加藤 静吾
山形県農民連会長 小林 茂樹

継続審査

契 約

- 白鷹町ソフトボール場・野球場改修工事請負契約の一部変更

契 約 金 額

変 更 前 1億7020万8000円

変 更 後 1億7258万8320円

老朽化した野球場のナイター操作盤の改修を追加するため、変更するもの。



人 事

- 教育委員会委員

任期満了にともない、引き続き向田俊一さん（広野）が教育委員会委員に選任され、全会一致で同意されました。

- 固定資産評価審査委員会委員

任期満了にともない、引き続き丸川正博さん（横田尻）が固定資産評価審査委員会委員に選任され、全会一致で同意されました。



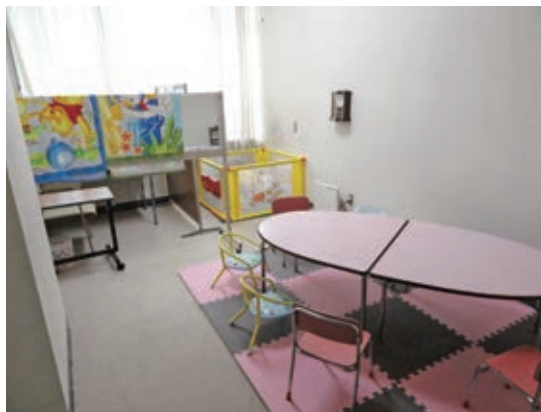
6月に摘果作業をすませ、今回は、思い思いに絵や文字を描いた透明シールを、まだ青い実に貼り付け、11月に、赤い色にくつきりと絵が浮かんだりんごの収穫作業を行います。

紙 風が涼しかった
表 鮎貝小・りんご栽培
鮎貝小学校がりんご栽培の総合的学習に取り組んで今年で15回目になります。9月26日に、3年生25人による葉摘み作業が、地元りんご農家の指導により行われました。

前期議員研修（7人）…………… 議会活性化

町民の議会参加の間口を広げる

平成28年7月26日から27日



箱根町議会の託児室

神奈川県箱根町において、議会改革、議会活性化と観光行政について研修を行った。

「開かれた議会」への取り組みは、情報発信ツールとして広報誌の他、ポスター、ホームページ、メールマガジン、フェイスブックなどを利用。

議会傍聴では、児童・乳幼児同伴の傍聴を可能にするため、託児室や授乳室の設置や、スマートフォン、タブレット端末の持ち込み自由、写真撮影や録音が可能、詳しい資料の貸し出しなど本町議会においても検討に値する取り組みであった。

後期議員研修（7人）…………… 担い手確保

農業・農村政策と移住・定住政策を地域づくりに生かす

平成28年7月28日から29日

農林水産省とふるさと回帰支援センターにおいて、今後の農業・農村政策と現在の移住・定住状況について研修を行った。

今後の農業・農村政策を研究し、有効に利活用しながら、移住・定住政策や空き家活用等の地方政策を複合的に組み合わせ、本町の大きな課題である農業や地域の担い手確保へ向けて、可能性を感じられる研修であった。



回帰センターの山形コーナー

議会広報研修

議会の雰囲気紙面に

平成28年8月23日から24日



廃校利用の議場にて

福島県只見町議会において広報誌の発行全般に關しての研修を行った。

広報誌発行のスケジュールの中で、記事に審議の雰囲気を出せるように、その日の議会が終了した後に委員会を開催し、審議の内容を振り返り、原稿の原案を検討しているとのこと。

より多くの町民に議会の雰囲気を感じてもらい、読んでもらうことを意識した取り組みは非常に参考になった。

議会になになぜ？



議会に対する素朴な疑問をQ & A方式で
分かりやすく解説します。

議員の数って多いの？

Q 現在の白鷹町の議員の数は。

A 平成19年から14人です。

Q この数は多いの。

A これまでの検討結果、このようになっていきます。ちなみに、置賜の他の町は、飯豊町が10人、小国町も10人、川西町が15人、高畠町も15人です。

Q 人口が関係するの。

A 以前は人口により上限が決まっていたが、平成23年に法律が改正され、各自治体で決めるようになりました。

Q 議員の数を減らした時のメリットは。

A 議会、委員会などでの審議時間が短くなる。報酬等の経費の節約になるなどです。

Q デメリットは。

A 地域の声や色々な立場の人の声が届きにくくなることや、議会、委員会での意見が少なくなることで、形ばかりの議会になってしまいう可能性があります。また、いろいろな立場での議員構成にはなりにくいなどです。

Q 町の人はどう思っているの。

A 平成26年に、一部町民の方と団体の長の方々との意見交換を行った時は、現状維持の意見が多かったようです。

しかし、「議会だより」に対する感想・意見」のはがきには、削減を望む意見が数件ありました。

Q 結局どうするの。

A 議会では現在「議会活性化特別委員会」を設置して、議員定数や報酬、議会のあり方などについて検討しています。

議員の数はもちろん

ですが、議員のなり手不足が全国的な課題となっています。

議会の役割を果たせるよう、委員会で議論し、方向性を示していきます。





— あの質問のゆくえ —

LED化する防犯灯の数と効果は

防犯灯のLED化については何基分を予定しているのか。また、その省エネ効果は。
平成26年4月

答弁

おおむね100基を想定している。現在の防犯灯に比べ1基あたり月50円程度は電気料金が安くなると思われる。

どうなった



明るくなった夜の町

平成26年度は『LED防犯灯普及促進事業』として応募いただいた9箇所・85灯についてLED化を行いました。

平成27年度には、『ESCO事業』により町内防犯灯全て（約2,100灯）をLED化させていただきました。

この『ESCO事業』は、設置工事や保守・管理等全ての費用を、光熱水費の削減分でまかなう事業です。町の新たな財政支出を必要としなくなり、利益の最大化をはかることが出来ることから取り入れたものです。

「街が明るくなった。」「球切れの回数が格段に減り、管理がしやすくなった。」との声をいただいております。電気料については、全町で1か月あたり約40%削減することが出来ています。

事業の検証と評価

防犯灯のLED化については、総務省の「街路灯等へのLED照明導入促進事業」もあるが、本町においては「ESCO事業」を活用しての導入を選択した。効果として、管理は業者が行うので、区や町内での負担がなくなることとはもちろん、町で負担している電気料も削減できるメリットがあると同時に、町民の方々からも高評価を得ている。

年間の電気料の削減額は次期決算を待たなければいけないが、期待は大きい。

10年間の事業で、その後はLEDを含む光源技術や電気環境等の状況をみながらの対応になると思われるが、現時点では一定の評価をしたい。

よくできました!



上村千紘さん
(荒砥地区)

冬に必ず雪が
降るなんて、
びっくり!

インタビュー よいごだったなっすー

20代、30代の 話を聞いてもらいたい。

「ふなっしー」の地元千葉県船橋市の出身。電車が大好きな2歳の男の子と、畑作りが大好きな優しいご主人、お嫁さんが大好きなお姑さんと暮らす明るいお母さんです。

白鷹町の印象は

四季がはっきりしていることに驚きでした。

冬は必ず雪が降って、春は桜が咲いて、夏はすごく暑くて、秋は食べ物おいしい。トマト一つにしても味が濃いですよね。

言葉はわかりましたか

電話で「..なっしー」

「おしよしなっしー」を連発され、なにを言われているのか全くわかりませんでした。でも今は、ふつうに「おはようさま」って言えますよ。

仕事をするきっかけは

にこぼーとに息子と遊ばせに行った時、カルチャーショックを受けました。「えー！お母さんたち、みんな働いてるの!？」

結婚したら専業主婦になるのが当たり前だと思っていましたから。

それから仕事をしなきゃと探し始めたら幸い求人があり、今の職場に。多忙ですがとてもやりがいを感じています。

町でいいねと思う事は

食べものがとてもおいしいです。特に野菜が。

きゅうりを炒めるのは衝撃でした。また、あけびの皮を食べるのもびっくりしました。鯉の甘露煮も初体験でした。

子育て世代には、医療費の無料化やにこぼーとは助かります。

町へ期待することは

病院に小児科があれば大変に助かります。また、自由に遊べる公園がほしいですね。

それから、働くところの充実です。主人も就業するのに苦労しました。私は運良くすぐ就労できましたが、ママ友でも働きたいけど働けない方も多いです。

こんなアイデアも

子どもは電車が大好きです。フラワー長井線で「子守り列車」を走らせてもらえませんか。できれば朝9時台の電車があるといいですね。親やおじいちゃん、おばあちゃんに喜ばれると思います。

議会へ望むこと

どんな人がどんな仕事をしているのかわからないので、活動がスマホなどでも簡単に見られるといいですね。あと、できたら若い人の相談に乗ってもらえるとうれしいです。

20代、30代の不安な気持ちを持てるようになって、環境にしていってほしいですね。

!?



編集後記



議会開催中に、産建文教常任委員会で萩野地区耕作放棄地整備事業を視察しました。

御影沼付近の7.5haで数台の重機が作業をしていました。用途はほとんど畑作で、加工ブドウ2haを含め、園芸作物とのことでした。山間地（耕作放棄地）での取り組みに、新たな息吹を感じました。

不透明な農政の中、積極的農業を称賛するとともに、良きモデルとして頑張ってほしいと思います。

(山田)

広報委員

委員長	山田 仁
副委員長・編集長	小口 尚司
委員	石川 重二
委員	佐々木 誠司
委員	笹原 俊一
印刷・長谷川印刷	